

平成 26 年 11 月 28 日

「北欧サステナブルエコデザインと福祉の国」 視察研修レポート

期間：平成 26 年 11 月 2 日～11 月 9 日

企画：一般社団法人エコハウス研究会

目的：屋上緑化の地域コミュニティ見学。

結論：エコとデザインが無理なく融合した、快適な住環境を体感。

今後：草屋根やデザイン性も兼ねたバルコニーの利用方法を提案推進。

1 住宅

① 一般住居

家具や建築費用は、決して安くないがデザインの優れた良いものを大切に、快適に暮らす文化がある。

② 草屋根・・・屋根材を紫外線等の劣化から保護し、景観も良いということから多く存在していた。

③ バルコニー

パラペットは、透明プラスチックやガラスまたは金属金網等でオープン。多くのバルコニーにバーベキューセットやテーブル・椅子・ソファがあった。

④ 駐車場金属壁・・・金属壁にパンチングし、車や山の絵をデザイン。



2 エコタウン

① ハンマルビー・ショースタッド地区（エネルギー循環型地域・2010年欧州グリーン都市賞受賞）

ごみ吸引システムにより、食べ物→バイオガス。可燃ごみ→電気・熱。紙→リサイクル。という循環システムが構築されている。ごみからの熱を利用した地域暖房や電気代の3分の1を占めるという冷蔵庫は、最初から省エネタイプのもものが備え付けてある。

② マルメ市ウエスタンハーバー地区

電力を全て再生可能エネルギー（太陽光・風力・水力・地熱・バイオガス）でまかなう。iPadでエネルギー使用量の確認や、電気自動車のカーシェアスケジュール確認等様々なことが出来る近未来の住宅。

③ Orestad Plejecenter・高齢者住宅

120人の住居人に対して、同人数の介護職員が在籍。



3 公共建築

ストックホルム市庁舎（アスプルンド設計）

聖 Mark's 協会（レヴェレンツ設計）

森の墓地（世界遺産・アスプルンド+レヴェレンツ設計）

東部墓地

聖 Gertrud・聖 Knut 教会・花屋（レヴェレンツ設計）

市立図書館（H.ラーセン設計）

マルメ市立劇場（レヴェレンツ設計）

夏の家（アスプルンド設計）

スウェーデンを代表する建築家の細部までこだわり考え抜き設計されている所に感銘を受けた。円型が特徴的な市立図書館では、天井に空を表していたり、教会や墓地では人や視線が中央へ向かうように中央に向かって傾斜をつけ、話がしやすいように椅子の配置にも角度をつけていたりデザインと実用性が融合していた。

